

細菌性髄膜炎から 子どもを守ろう！



乳幼児の細菌性髄膜炎は、早期の診断が困難で死亡率も高く、助かった場合も重い後遺症を残すことの多い病気です。そのほとんどはインフルエンザ菌b型（ヒブ）と肺炎球菌が原因で、予防接種で防ぐことができる病気です。

生後2ヶ月から

ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン

の2つのワクチンを受けましょう。

予防接種スケジュールは、
小児科かかりつけ医と相談しましょう。